

〈解答〉

- ① 1 とつ 2 ちゅうしゅつ 3 けんま 4 忘 5 乗降 6 遺産
- ② 1 四 2 十一 3 八 4 二 5 一 6 一 7 五 8 十四  
9 十一 10 五 11 二 12 一 13 四 14 五 15 三 16 三
- ③ 1 ア 2 エ 3 ウ 4 イ 5 エ 6 エ

配点 各1点 28点満点

〈解説〉

- ① 1 「嫁」は「とつ(ぐ)」のほか「よめ」という訓読みもあり、「嫁ぐ」は、「結婚して夫の家族の一員となる」「よめに行く」という意味。形が似ている漢字「稼」は「かせ(ぐ)」と訓読みする。
- 2 「抽出」は、「多くの中からある特定のものを抜き出すこと」という意味。「抽」を使った熟語「抽象」は「広く共通性を持った要素を抜き出すこと」という意味で、対義語は「具象」「具体」。
- 3 「研磨」とは、「といで、みがくこと」という意味で、刃物や宝石などの硬い物の表面をなめらかにすること。また、学問や技術などを深く高度なものにしていくことといった意味でも使う。「研」は「と(ぐ)」、「磨」は「みが(く)」と訓読みする。
- 4 「寝食を忘れる」は「寝ることも食べることも忘れるくらい一つのことに集中すること」という意味の慣用表現。「忘」の音読みは「ボウ」で、「忘却」「備忘」などの熟語として用いられる。

- 5 「乗降」は、「乗り物に乗ることと降りること」という意味で、反対の意味の漢字を組み合わせさせた熟語になっている。
- 6 「遺産」は「死後に残した財産」の意味であるが、「文化遺産」のように、比喩的に「前代の人々が残した業績や文化財」という意味でも使われる。「遣」に形が似ている漢字として「遣」があるので、書き間違えないように気をつける。

② 筆順は漢和辞典などで一つひとつ確認しておくこと。

- ③ 1 アは気性、イは気象、ウは起床、エは希少である。  
2 アは行爲、イは更衣、ウは厚意、エは好意である。  
3 アは厚生、イは公正、ウは構成、エは後世である。  
4 アは終生、イは習性、ウは集成、エは修正である。

6 5  
アは身長、イは伸張、ウは新調、エは慎重である。  
アは転化、イは添加、ウは転嫁、エは天下である。